



MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2015年9月号



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>



「ちがう立場で参加して」

早野 琴音 (宮古高校 1年)

私が今回のYMCAのサマーキャンプに参加しようと思ったきっかけは、小学5年生・6年生の時に、YMCAのスキーキャンプに参加したこと。その時、とても緊張していた私に、リーダーのお姉さん・お兄さんがたくさん話しかけてくれました。おかげで緊張がほぐれ、他の学校の子たちとも友達になり、たくさん遊んで、笑って、とても楽しい思い出を作ることができました。今回のサマーキャンプでは、小学校の時の恩返しをしたい、少しでも力になれたらいいなという思いで参加を決めました。

いざサマーキャンプへ出発だ、となると、うまく喋れるかな？など、とても不安を感じました。駅で参加するみんなと顔を合わせた時には、みんな緊張している顔をしていたので、私だけが緊張しているのではないんだ、と安心しました。それに、スキーキャンプに参加した時も緊張していた自分を思い出して、懐かしい気持ちにもなりました。

バスで移動した時は、事前に練習していた手遊びをしたり、歌をうたったりして盛り上がりながら田沢湖へ向かいました。バスの中には、誰でもすぐ打ち解けて仲良くなれる子も、自分からあまり話しかけられない子もいました。私は、どう話しかけたら打ち解けられるか悩みなながらも、「学校でなんて呼ばれるの?」「今回のキャンプで何が一番楽しみ?」という風に、たくさんの子どもたちに話しかけました。

グループで旗をつくった時には、女の子が、「これ描きたい!描いていい?」と聞いてきました。すると、横から、「これは描いちゃダメ!だって、この旗に合わないじゃん」と、すこし言い合いになりそうな雰囲気になってしまい、私も困ってしまいました。すると、もう一人のリーダーが、「じゃあ、こういう風に描いたら、この旗に合うようになるんじゃない?」と、二人の意見をうまく取り取って、助けてくれました。私は困ってしまっても何も言うことができなかつたけれど、柔軟な発想をして子

どもたちに言えればよかったな...と、後悔しました。そして、一人ひとりの持つこだわりを尊重しながらも、みんなが納得できるように、まとめてあげないといけないということに気づきました。

そして、二日目の湖水浴では、みんな打ち解けて楽しそうにしていました。しかし、一人浜辺で退屈そうにしている子がいました。前の晩のミーティングでも、一人でいる子に気をかけようという話が出ていたので、私はその子に話しかけてみました。最初は何を話しかけていいかわからなかつたけれど、たくさん話しかけていたら、その子もだんだん乗ってきてくれて、一緒に遊ぶことができました。すごく嬉しかったです。2日間で、子どもとの距離感や接し方がつかめた気がしました。

最終日の活動はフリータイムだけでしたが、一人になっている子もおらず、みんな楽しげに遊んでいました。そんな姿に私はとても安心したし、3日間という短い間でこんなに仲良くなれる子どもたちの力にとても感動しました。

私にとって、以前のキャンプで出会ったリーダーの存在はとても大きいものです。今回のキャンプでも、そのリーダーを思い出して子どもたちと接しました。その経験があったから、リーダーの役割を果たせました。それに、今回のキャンプは私自身もとても楽しめたし、人としても成長できた気がします。本当に、今回のサマーキャンプに参加することができてよかったです。最後に、私が小学生だった頃リーダーにあこがれ、なりたと思って今回参加したように、今回のキャンプで同じことを思ってくれた子がいたらいいなと思っています。



☆夏の思い出、サマーキャンプ！☆

夏休みも終わり、いよいよ秋の足音が聞こえてきました。この夏、盛岡YMCAでは、盛岡の子ども対象の5つのキャンプ、宮古の子ども対象の1つのキャンプを行い、それぞれ暑い日々を過ごしました。それぞれのキャンプ担当者からの活動報告を掲載いたします！

わんぱくキャンプ

7/19~7/20

今年のわんぱくキャンプは、幼稚園年中から小学3年生までの30人のメンバーと、10人のスタッフ・ボランティアリーダーでのキャンプとなりました。

小さい子が多い中、「自分達の事は自分達でやる」「出来る出来ないではなく、まずチャレンジしてみる」を目標に、一人一人のメンバーが頑張っており、一つ一つの時間を皆で作りに上げていくことのできたキャンプでした。



ディレクター 小川 嘉文



テントの中は、狭くて楽しい空間です。←



お食事の素敵な笑顔、いただきました！←



一泊二日のキャンプで、こんなに仲良くなりました！←



薪割りにも、リーダーと一緒にチャレンジ！←

→ サッカーだけではなく、プールも楽しめました！



→ 食べ盛りの子どももリーダーも嬉しい、バーベキュー！



サッカーキャンプ

8/1~8/4

8月1日(土)~8月4日(火)に3泊4日で八幡平市のいこいの村岩手で「サッカーキャンプ」を行いました。28名の子ども達と2人のリーダー、そして2名のスタッフが参加しました。初めて参加する子や、毎年参加している子、様々な思いを胸に当日を迎えました。ボールと一緒に追いかけているうちに自然と子ども同士はつながっていき、学年関係なく一つのチームとなっていました。このキャンプはサッカーだけでなく2日目にはプール、3日目にはバーベキューを行いました。サッカーと一緒にボールを追いかけて、汗を流し、プールで遊び、バーベキューで仲を深め、そして最終日の岩手山カップでは自分と仲間を大切に、戦いました。今年のキャンプもサッカーや3泊4日の生活を通して、たくさんの出会いと気づきがあふれていた暑いキャンプとなりました。来年のサッカーキャンプもみなさん楽しみにしてください！



ディレクター 伊藤 眞太郎

→ 自分たちでつくったオリジナルのユニフォームに身を包み、いざ岩手山カップへ！3泊4日のあいだ、一緒に汗を流した仲間たちと、暑い試合をすることができました。



子どもたちもリーダーも、手をつないだら、あっという間に仲良しに！ ↓



↑ 自然たっぷりの御所野縄文公園。いろんな植物、いろんな虫たちに出会いました！



↑ 高床式倉庫に入ってみれば、気分はあっという間に縄文時代！？泊まったのも、テントではなく堅穴式住居でした。そんなタイムスリップしたかのような空間の中で、子どもたちはたくさんの気づきを得たようです！

タイムスリップキャンプ

8/6~8/7

8月6日(木)~8月7日(金)に1泊2日で二戸の御所野縄文公園で「タイムスリップキャンプ」を行いました。20名の子ども達と6人のリーダー、そして1名のスタッフが参加しました。このキャンプは様々な初めてがたくさん詰まっています。初めてのキャンプ、初めてのお友達やリーダー、初めて泊まる堅穴式住居…。そんな「初めて」が詰まったこのキャンプでも、一緒に遊び一緒に野外炊事を一緒に生活することで、自分を知ってもらいお友達を知り、どんどんと仲が深まり、たくさんの気づき生まれ、自分と友達を大切にしています。子ども達はキャンプ中にたくさんの素敵な顔を見せてくれ、とっても輝いていました。この出会いと気づきが子ども達の自信となり、生きる力となればと願っています。タイムスリップキャンプも暑いキャンプとなりました！

ディレクター 伊藤 眞太郎

森の大自然満喫キャンプ

8/8~8/9

今年の森の大自然満喫キャンプは、メンバー30名、リーダー・スタッフが10名、合計40名という大所帯での、1泊2日のキャンプとなりました。

当日は天候にも恵まれ、参加した子どもたちは、ネイチャービンゴやフリータイムでの活動を通し、外山森林公園の自然に触れ、普段は目にすることがない、触れることもない植物や生き物などに触れ楽しんでいました。

また、1日目の夕食作りでは、自分たちで薪を割り火を焚き、材料を切り、調理するという過程の中で、ここでも普段とは違う体験が来ました。たくさんの自然がある分、電気・火・寝具・食べ物など、普段の生活では当たり前にあるものが、実は決して当たり前ではないのだということを、少しでも感じ、気づいてくれればと思います。「何もないけど自分たち次第で何でもあるキャンプになる」ということを通して、1泊2日という短い時間ではありますが、何かを感じてつなげることが出来たのではと思います。

ディレクター 浅沼 慧



→ みんな大好きカレーライス、いただきます！



→ 森の中で、なにやら会議中のようにです…。



→ 虫かごを持って、リーダーと一緒にピクニック！今回のキャンプでは、普段の生活ではなかなか目にすることのない虫たちにも出会うことができ、子どもたちもとても楽しんでいました。

田沢湖わくわくキャンプ

8/10~8/12

8月10日(月)~12日(水)に2泊3日で秋田県仙北市の思い出の潟分校で「田沢湖わくわくキャンプ」を行いました。35人の子ども達と8人のリーダー、そして2人のスタッフが参加しました。毎年行っているこのキャンプ、今年はキャンセル待ちが多く出るほどの人気のキャンプとなりました。キャンプのプログラムのメインとなるのは湖水浴とお祭りです。湖水浴では綺麗な田沢湖で思いっきり遊び、お祭りではグループごとに屋台をプロデュースしみんなでお祭りを創りました。木造の校舎はいつも子ども達の元気な声が響き渡り、大自然の中、ゆったりと流れる時間の中で人と人が繋がり、自分以外の他者の存在を感じ、その中でたくさんの気づきが生まれていました。人と出会うことや繋がるとすることはとても勇気のあることですが、子ども達は遊びを通して、人や自然とこのキャンプでたくさん繋がることが出来ました。子ども達がそんな出会いや気づきをたくさん体験し、自分自身に自信をもち、これからの新しい出会いに自信を持って一歩を踏み出せる、そんな生きる力が子ども達についてもらえたらと思います。今年の田沢湖わくわくキャンプも、とびっきり熱い最高の夏の思い出となるキャンプとなりました。来年も楽しみにしてくださいね！

ディレクター 伊藤 真太郎



↑ 待ちに待った湖水浴！湖の水を満喫した子ども、砂浜でいっぱい砂遊びする子ども、そして一緒に遊ぶリーダーたちも、大はしゃぎしたひとときでした。



↑ 水の中にはどんな生き物がいるんだろう？虫取り網を手に、みんなで大捜索です！



↑ 昭和の香り漂う校舎の中で、楽しいお祭りが開かれました！

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 8月報告書

1. 「田沢湖思いっきりサマーキャンプ」開催！

宮古ボランティアセンターでは、宮古の子どもたち対象の「田沢湖思いっきりサマーキャンプ」を開催いたしました。39名の小学生たち、そしてリーダーとして11名の地元の高校生、8名の大学生・社会人が参加してくれ、総勢58名のにぎやかなキャンプとなりました。

場所は秋田県の「思い出の潟分校」です。かつて昭和の分校だった場所で、子どもたちもリーダーも楽しい時間を過ごしました。晴天の中、田沢湖での湖水浴も行い、きれいな水の中を十分に満喫しました。

かつて小学生だった時に宮古ボランティアセンターのキャンプに参加してくれた子どもが、今回のキャンプでは高校生リーダーとなって参加してくれました。今まで積み上げてきたひとつひとつの活動が、現在、そして未来へとつながってゆくのだと感じています。



2. 津軽石小学校水泳教室開催！

今年も、津軽石小学校での水泳教室を開催いたしました。県外からもリーダー達がかけつけてくれて、津軽石の子どもたちとともにパワフルで楽しい活動を行うことができました。



3. ミニコンサート開催！

西宮より、合唱団「アンサンブル・シルフィード」の皆さんにお越し頂き、三陸鉄道・宮古小学校・仮設住宅でのミニコンサートを開催いたしました。各会場に、美しい歌声が響き渡りました。



9月の予定

- ★9月6日(日)
宮古アドベンチャー
「開伊川で遊ぼう♪」
(於：開伊川)
- ★9月12日(土)
森のようちえん
「ザリガニを釣ろう♪」
ちゃれんじキッズ☆
(於：高松・芝水園)
- ★9月13日(日)
サンデースクール
「ドーナツづくり」
(於：プラザおでって5F)
- ★9月27日(日)
アドベンチャークラブ
「滝を見に行こう♪」
(於：外山森林公園)

☆バザー開催☆

盛岡YMCA向中野センターでは、以下の日程でバザーを開催いたします！

日時：9月13日(日)
11:00～14:00

場所：盛岡YMCA 向中野センター
(向中野小学校敷地内)

※当日はセンターおよび学校施設内に車の駐車はできかねます。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

当日の販売による益金は、国際協力募金という形で、日本YMCA同盟を通して、ネパール地震の被災地支援に充てさせていただきます。

また、当日はバザーの他に簡単な飲食ブースも用意する予定となっております。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。



YMCAからの支援物資を手にするネパールの人々。←

表紙の写真から



宮古の子どもたち対象のキャンプにて大活躍してくれた、11名の高校生リーダー達です。宮古の将来を担う、頼もしい若者たちです！



君でいいんだよ ～JUST THE WAY "YOU" ARE ⑮～

「感じる力」

テレビで万葉集の特集をしていた。

古(いにしへの)の事は知らぬを
我見ても久しくなりぬ
天の香久山

(万葉集 巻7-1096)
作者未詳

「昔のことはよくわからないけど、そんな私が見てもこの場所は、なつかしく大切な場所であることは理解できる」という意味だそう。

「初めてこの場所に立った作者は、それに対する知識を何も持ち合わせていなくとも素晴らしいものは素晴らしいと認識できる感性をもっていった」と、番組の中で、奈良

大学の上野誠教授は解説している。

私たちは、絵の展覧会に行って解説を見ながらその絵を素晴らしいと思い、国宝だから、重要文化財だから大切だと考え、カタログや情報誌で紹介されたからいいと他者に紹介する、いつのまにかそんな生活を送ってしまっているのではないだろうか。情報というフィルターを外して、素のありのままの自分として「感じる力」を育てていきたいものだ。

『天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。』

ルカによる福音書10章21節

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

新スタッフ紹介☆その4！

新スタッフ紹介、4人目は、しむリーダーです！

しむリーダーは、今年の7月からYMCAスタッフとなりました。現在、ぶらいむ・たいむでの活動を中心に、子どもたちと楽しく活動しています。



- ①名前：志村 星 (しむら しょう)
- ②リーダー名：しむ
- ③出身：奥州市胆沢区
- ④みなさんへ：

7月より、盛岡YMCAで働くことになりました、しむこと志村星です。現在は、ぶらいむ・たいむにて、子どもたちと仲良く遊んでいます。

す。これからも、みんなで仲良く思い切り遊びたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

今回で、新スタッフ紹介コーナーはラストになります。

今年度からのスタッフも、そして以前からのスタッフも、力を合わせ、よりよい活動ができるよう邁進していきたいと思えます。今後とも、どうぞよろしくお願いたします！

来月号のYMCAニュースからは、また新しいコーナーのスタートを予定しております。お楽しみに！



感謝

(2015年度8月31日現在)
順不同・敬称略

●維持会費

木田泰之、光永尚生、今野聖子、今野健男、佐藤健、川坂保宏、鶴野谷三千代、熊谷圭祐、滝川佐波子、北田アユ子、押切梓、名古屋恒彦、越前谷洋子、戸貞文、伊藤克見、魚住英昭、花田隆、水谷史門、廣川健太郎、廣川厚子、廣川はるな、森山日菜乃、森山幹大、遠藤昌樹、小山憲彦、原寛、大関靖一、井上優子、井上浩太、田村電設、伊藤真一郎、伊藤みどり、清水弘一、高瀬裕太、井上修三、井上優子、小畑孝治、角谷晋次、山崎詩織、川守田浩、高瀬裕太、井上修三、井上優子、小畑孝子、千葉洋子、山崎詩織、山崎詩織、盛岡チャペル、重石桂司、人見晃弘、塚有史、濱塚真美、濱塚恵太、濱塚恵樹、林辰也、熊谷太、有我啓隆、吉井啓亮、中原真澄、武内祐輔、松木和也、藤野野平、長岡正彦、斎恒太夫、飯島隆輔、岡田虎治、村上健太郎、村上才子、花田瞳

●寄附金

佐藤翔、鶴野谷三千代、熊谷圭祐、伊藤克見、花田隆、遠藤昌樹、小山憲彦、原寛、伊藤真一郎、清水弘一、角谷晋次、山崎詩織、高瀬裕彦、人見晃弘、早坂春希、池田二郎、増田隆、中原真澄、飯島隆輔、花田瞳

●東日本大震災被災地支援募金・献品

名古屋ラザークラブ、沖繩那覇ワイズメンズクラブ、京都トップスワイズメンズクラブ、京都東横ワイズメンズクラブ、京都エイブルクラブ、京都キャピタルクラブ、四日市ワイズメンズクラブ、名古屋ワイズメンズクラブ、南山ワイズメンズクラブ、東海ワイズメンズクラブ、名古屋クラブ、名古屋クラブ、宇都宮東ワイズメンズクラブ、和歌山紀の川クラブ、横浜ワイズメンズクラブ、清水弘一、日本基督教団内丸教会、鹿児島ワイズメンズクラブ、鹿児島YMCA、熊本むさしワイズメンズクラブ、ワイズメンズクラブ国際協会東日本地区、岩国みなみワイズメンズクラブ、京都ワイズメンズクラブ、廣瀬一雄、広島ワイズメンズクラブ、大阪YMCAインターナショナルスクール、ジョニー・マッフィー、飯島隆輔

●国際協力募金(ネパール)地震被災地支援

日本基督教団内丸教会、川守田浩、鶴野谷三千代、盛岡チャペル、増田隆、(有)熊安旅館、杉田弘美、神田福恵、濱塚秋一、名古屋恒彦、鬼柳忠彦、熊谷亜希子、大関靖一、滝川佐波子、遠藤昌樹、伊藤克見、女鹿乃々花、中村恵美子、伊藤真一郎、高橋亜也子、重石桂司、早坂春希、フジクリーン岩手(株)、濱塚有史、菅原省司、山崎祥子

